

神戸2号線大道地区等トンネル上部利用計画

平成14年3月 阪神高速道路公団神戸建設局

Sogo-Chosa-Sekkei Works

Urban Planning Designing
Research Concept Planning

阪神高速神戸山手線は、渋滞の緩和など将来の交通需要への対応、災害機能の充実に目的とした道路である。

本業務は、神戸山手線トンネルの神戸長田ランプ周辺の上部利用計画を行うもので、関係機関との協議と平行しながら住民ニーズに即した空間づくりを行っている。また、上部利用の検討とともに、側道形態の検討や実施設計、ランプ供用開始による交通環境の変化による周辺交通への影響などをまとめた。

- 計画条件の整理
- 上部利用及び側道基本計画
- 周辺交通形態の検討
- 上部利用及び側道実施設計



● 上部利用平成15年度完成区間

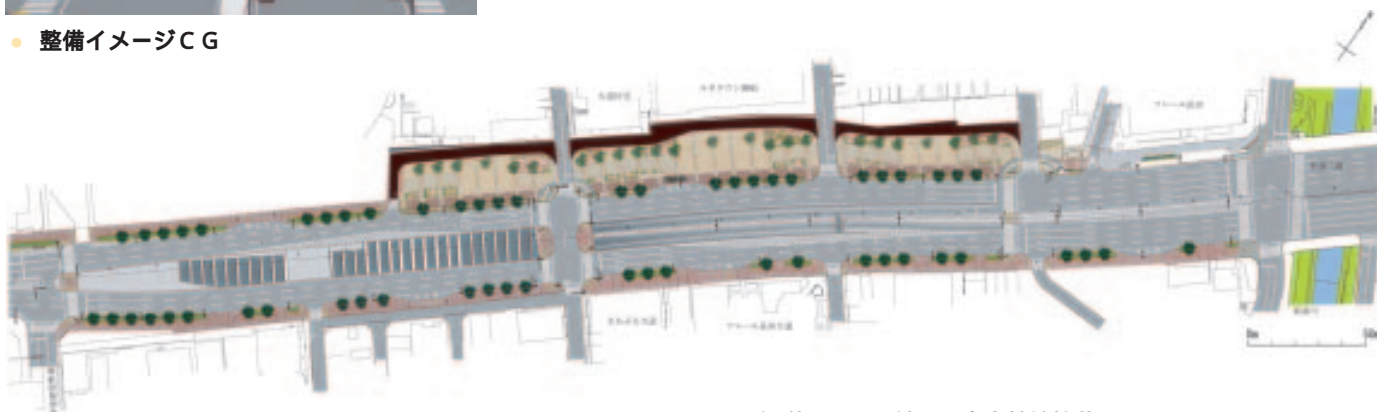


● 上部利用平成15年度完成区間

～視線の通る空間づくりを基本とした空間づくり。
トンネル上部と、中央幹線との連続性を確保した空間デザインとしている。



● 整備イメージCG



● 計画平面図

～ 上部利用の平面計画、中央幹線植栽レイアウト、
交差点交通形態の検討等、周辺を含めトータル的な計画を行った

総合調査設計株式会社

Sogo-Chosa-Sekkei Co., Ltd.

〒530-0012 大阪市北区芝田1-8-15 梅田北ビル tel 06 (6372) 0567 fax 06 (6372) 0715

E-mail main@sogo-chosa.com

URL http://sogo-chosa.com/